

防コミの歩き方



三世代参加型防災訓練

10月26日、千代が丘地域福祉センターにおいて、三世代参加型防災訓練が実施されました。三世代というのは、祖父母世代と、父母世代、子ども世代の三世代を指し、子どもから大人まで参加できる防災訓練を千代が丘防災福祉コミュニティが計画しました。訓練当日は天候にも恵まれ、地域の子どもが27人、大人が53人の計80人が参加されました。

●訓練の目的

災害は家族みんなで備えることが大切なので、家族全体で訓練に参加できるよう、子どもと一緒におこなえる訓練を中心とし、家族全体の防災に対する知識を高めて、災害発生時に備えることを目的としました。

●訓練の内容

普段は触れることのない資機材に触れ、少しでも多くの経験ができるように、体験するプログラムを数多く準備しました。

具体的には、まず、非常時の炊飯方法として、ビニール袋を使用したご飯の炊き方を学びました。

次に、NPO法人プラス・アーツが開発した防災訓練プログラム「イザカエルキャラバン!」を参考に、千代が丘防災福祉コミュニティがアレンジしたものを「ミニカエル

キャラバン」として、訓練をスタンプラリー方式でおこないました。内容は、煙体験や水消火器体験、担架搬送体験、AED体験、非常持ち出し品展示、防災資機材展示及び簡易トイレ展示をおこない、体験をしたらスタンプをもらって、スタンプをすべて集められるようにするものです。

最後に、垂水消防署にある消防車の名前あてクイズや消防車の塗り絵コンクールをおこない、訓練を終了しました。

●訓練の様子

訓練に参加した子どもたちは、自分のスタンプラリーの用紙を見ながら、まだ参加していない訓練がどこでおこなわれているのか、参加した訓練はどのようであったのかを家族や友だちと話し合い、大人たちは担架搬送で実際に子どもを搬送したり、煙体験で視界の悪さや怖さを実感するなどして、家族みんなで防災のことを考える機会となりました。

●その他

千代が丘防災福祉コミュニティは、平成26年度の優良自主防災組織として兵庫県知事から表彰を受けました。

(垂水消防署)

